

[報告]

大型計算機センター法制化 50 周年記念シンポジウム報告

滝沢 寛之

東北大学サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部

東北大学 サイバーサイエンスセンターは、以下の 6 センターと共に 2019 年 7 月 10 日(水)に品川 The Grand Hall で「大型計算機センター法制 50 周年記念シンポジウム」を開催しました。

- 北海道大学 情報基盤センター
- 東京大学 情報基盤センター
- 名古屋大学 情報基盤センター
- 京都大学 学術情報メディアセンター
- 大阪大学 サイバーメディアセンター
- 九州大学 情報基盤研究開発センター

歴史を紐解くと、上述の主催 7 センターが発足したタイミングには多少の違いがありますが、全国の学術研究者が利用できるように大型計算機センターの制度が整備された 1969 年から数えて 50 周年となることを記念して本シンポジウムは執り行われました。当日のプログラムを以下に示します。

プログラム：

開会の挨拶 東京大学情報基盤センター 田浦 健次郎 センター長

来賓祝辞 文部科学省研究振興局 橋爪 敦 参事官(情報担当)

招待講演 米国テネシー大学 Jack Dongarra 教授

High Performance Computing and Big Data: Challenges for the Future

招待講演 高度情報科学技術研究機構 小柳 義夫 氏

大学計算センターの歩み

パネルディスカッション

テーマ：「10 年後の情報基盤センターの在り方を考える」

司 会：北海道大学情報基盤センター 岩下 武史 教授

パネリスト：

北海道大学 杉木 章義 准教授

東北大学 江川 隆輔 准教授

東京大学 星野 哲也 助教

名古屋大学 嶋田 創 准教授

京都大学 深沢 圭一郎 准教授

大阪大学 伊達 進 准教授

九州大学 嶋吉 隆夫 准教授

主催者を代表して東京大学情報基盤センターの田浦センター長より開会の挨拶があり、文部科学省からは橋爪参事官より法制化 50 周年記念の祝辞をいただきました。

1 人目の招待講演者である Dongarra 教授からは、日本の大学のスパコン整備が中長期的に計画されていることや、スパコンのランキングとして有名な TOP500 List の現状分析、科学技術計算とビッグデータ処理のエコシステムを構築するうえでの課題などについて興味深い講演がありました。2 人目の招待講演者である小柳氏からは、今となっては知っている人が少なくなってきた大型計算機センターの歴史を、その前史から含めてご講演いただきました。また、大学の計算機センターはサービスセンターから研究センターに変わっていくべきだという方向性も示されました。

シンポジウムの後半は「10 年後の情報基盤センターの在り方を考える」というテーマでパネルディスカッションが行われました。北海道大学の岩下教授が司会を担当し、主催の 7 センターから若手・中堅の教員がパネリストとして登壇しました。パネリストはそれぞれの立場や専門分野からの観点で、10 年後の情報基盤センターの在り方を述べました。その後に会場から多くの発言があり、活発なディスカッションが行われました。「仕事は増える一方だが人は増えない」など、現在のセンター教職員が抱える悩みを共有しつつ、小柳先生が招待講演で示唆したとおりに研究センターとして発展していくべきだという方向で意見が一致していたように感じました。

以上、本シンポジウムは現在、過去、未来の情報基盤センターの在り方を学び、考えるうえで大変有意義であり、当初の予想以上に盛会となりました。





東京大学情報基盤センター 田浦健次郎 センター長



文部科学省研究振興局 橋爪敦 参事官



米国テネシー大学 Jack Dongarra 教授 1



米国テネシー大学 Jack Dongarra 教授 2 (質疑応答)



高度情報科学技術研究機構 小柳義夫氏 1



高度情報科学技術研究機構 小柳義夫氏 2



パネルディスカッション
「10年後の情報基盤センターの在り方を考える」



会場の様子